

令和7年度一般財団法人宮城県社会保険協会 事業報告

令和7年度における本会事業を取り巻く状況は、令和7年年金制度改正により被用者保険の適用拡大、在職老齢年金制度の見直し、標準報酬月額段階的引き上げ等が成立しました。また、健康保険証の新規発行の廃止に伴うマイナ保険証を基本とする仕組みは、完全に移行され、医療DXの推進など、本格稼働に向けた取組みが進められています。

そのため、当協会としては、社会保険制度が健全かつ安定的に運営され、会員事業主、被保険者およびその家族、年金受給者の皆様が健康で長く働き、長期にわたり年金を受け取れるよう支援するため、令和7年年金制度改正に関する重要な情報の迅速かつ正確な周知に努めるとともに、デジタル化を強力に推進することで、情報の即時提供体制を構築いたしました。

特に、広報体制の抜本的な刷新と、会員の皆様の多様なニーズに即した健康増進事業の展開を重点施策に据え、全力を注いでまいりました。

主な内容は下記のとおりです。

1. 会議の開催

意思決定機関である理事会および評議員会を適正に開催し、透明性の高い組織運営を堅持した。

令和7年度は、日本年金機構、全国健康保険協会（協会けんぽ）に加え、新たに宮城県社会保険委員会連合会を交えた『四者連絡会議』を定期開催し、地域における社会保障の普及・推進に向けた多角的な連携基盤を確立した。

名 称	実 施 日	議 題
理 事 会 評 議 員 会	1. 令和7年6月9日 (書面) 2. 令和7年6月24日	1. 令和6年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業報告 2. 令和6年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支決算(案) 3. 理事選任等について 4. 副会長の選定について
理 事 会	令和8年3月3日	1. 令和8年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業計画(案) 2. 令和8年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支予算(案)

名 称	実 施 日	議 題
評 議 員 会	令和 8 年 3 月 17 日	1. 令和 8 年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業計画(案) 2. 令和 8 年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支予算(案)
広 報 誌 編 集 会 議	1. 令和 8 年 1 月 21 日 2. 隔月開催	1. 令和 8 年度広報計画策定会議 (仙台東年金事務所、協会けんぽ) 2. 広報誌発行のための編集会議
四 者 連 絡 会 議	令和 7 年 6 月 3 日 令和 7 年 11 月 19 日 令和 8 年 2 月 18 日	1. 令和 7 年度日本年金機構仙台東年金事 務所及び全国健康保険協会宮城支部、宮 城県社会保険委員会連合会との連携会議

2. 周知・広報

広報誌「社会保険みやぎ」による広報

- (1) 広報誌「社会保険みやぎ」を、日本年金機構各年金事務所及び全国健康保険協会宮城支部の協力を得て編集発行し、隔月会員事業所に配布した。(年間発行部数 71,450 部)

主な編集内容

- ・宮城県内の新しい見どころの紹介(表紙)
- ・年金保険制度及び健康保険制度の解説と事務手続き
- ・生活習慣病予防健診・特定健診の受診勧奨、特定保健指導の活用
- ・制度解説シリーズ：漫画「M美さんの社会保険物語」
- ・県推進の健康増進キャンペーンの広報
- ・健康づくり事業の案内(専門家による指導講習会等)
- ・本協会事業に関するお知らせ(新任担当者等講習会等)
- ・仙台うみの杜水族館等の施設割引利用券
- ・スプリングバレー仙台泉でのスキー・スノーボードスクール開催案内
- ・宿泊施設等の優待割引利用について
- ・健康増進事業の「歩け歩け大会」の広報

- (2) ホームページによる広報

デジタル化への対応として、以下のコンテンツを充実させた。

- ① 「会員限定ページ」における利用優待券等のダウンロード
- ② 年金シニアライフセミナー等のオンライン申込フォーム
- ③ 会員事業所変更届フォームの構築
- ④ 入会届フォームの構築

(3) 講習会等の開催

事業所の新任担当者向けの事務講習会である「新任担当者等事務講習会」及び退職予定者等を対象に、定年退職後の具体的なライフプランや健康維持についての講演を行う「年金シニアライフセミナー」を実施した。

① 新任担当者等事務講習会（令和7年9月開催 5会場）

参加者 97名（仙台49名、石巻20名、大崎23名、大河原9名）

② 年金シニアライフセミナー（令和7年10月開催 5会場）

参加者 106名（仙台52名、石巻20名、大崎23名、大河原14名）

(4) その他の年金制度等の周知

① 会員事業所に対してテキスト「令和7年度版 社会保険の実務の手引き」の配布（配布10,500部うち205部は新規加入会員事業所）

② 宮城県ポスターコンクールの後援

年金制度の普及・啓発を目的とした中学生向けのポスターコンクール（主催：日本年金機構 宮城県内各年金事務所）に協賛し、記念品の贈呈を行った。入賞結果については広報誌「社会保険みやぎ」に掲載、当協会ホームページにおいても公表（応募総数 62作品）

3. 健康・福利の増進

(1) 健康づくり事業の実施

職場の健康づくり推進のため、広報誌などで情報発信を行ったが、今年度は健康に関する講習会を希望する事業所は予想より少ない結果となった。

① 健康づくり指導講習会：管理栄養士による講習の実施

（計1回：参加者16名）

なお、体育専門家による講習、専門家による技術講習は実施なし。

② 健康づくりDVDの貸出し：健康づくりに役立つDVDの貸出しを実施

（計2枚：58名視聴）

③ ホームページでの動画コンテンツの公開：3分でできる簡単な運動をHP上で公開

(2) 健康増進事業の実施

会員およびその家族の健康保持・増進を目的として、宮城交通グループと河北新報社による健康増進を目的としたウォーキングイベント「歩け歩け大会」への利用助成やスプリングバレー仙台泉スキー場でのスキー・スノーボードスクールへの参加助成を行った。また、契約宿泊施設「鳴子やすらぎ荘」への宿泊補助を行った。

- ① 春・秋のハイキング：「みやぎ歩け歩け大会」（参加者 12 人）
- ② スキー・スノーボードスクール（発行枚数 9 枚 4 名参加）
- ③ 指定保養所の宿泊補助（利用者 1 事業所のべ 10 名）
- ④ スプリングバレー仙台泉スキー場リフト券特別優待割引券の配布
（広報誌に掲載：全会員事業所に 4 枚配付）

(3) 健康と福利の増進事業の推進

会員事業所の従業員およびその家族の福利厚生の上昇と、健康増進に寄与するため、施設利用や宿泊に関する優待事業を多角的に展開した。特に、デジタル社会への対応として従来の紙カード利用に追加して「施設利用会員証（WEB 版）」を導入した。

またスプリングバレー仙台泉スキー場および仙台うみの杜水族館との契約を継続・更新し、特にスプリングバレー仙台泉スキー場については、新たな優待メニューを導入することで通年での利用を可能とした。

① 利用優待事業の推進

- ・「高原の芋煮会及びジップラインアドベンチャー」の利用優待を新規締結
- ・仙台うみの杜水族館の不定期の特別優待キャンペーンについては協会ホームページ「会員限定ページ」でタイムリーに広報

② 宿泊施設等の優待事業の推進

- ・一般社団法人全国社会保険協会連合会との連携により「施設利用会員証（WEB 版）」の運用開始
- ・優待施設や独自契約の宿泊施設について、広報誌および当協会ホームページ上で積極的に周知広報を実施

③ その他（広報誌への同封物）

- ・家庭常備薬等の斡旋（年 2 回：6 月・12 月）
- ・経済誌 2 社の年間購読特別割引キャンペーン
- ・乗馬クラブの利用割引券の案内

4. 社会保険委員会への協力

(1) 社会保険委員会との連携強化

社会保険委員（職域型年金委員・健康保険委員）会との連携を強化し、経理事務等に協力した。

(2) 年金委員表彰への協賛

「年金委員・健康保険委員会等表彰式」の合同表彰式の際、年金委員への表彰に協賛した。

(3) 「月刊社会保険」の発送費用負担

社会保険委員等の社会保険実務担当者のための専門誌「月刊社会保険」の送料負担を支援した。

5. その他の実施事項

(1) 社会保険協会長表彰について

長年、当協会の役員に就任されるなど、当協会事業の推進に貢献し、ご尽力いただいた方を表彰した。

監事 株式会社マルタマ 会長 竹田 隆 様

(2) 年金相談センターおよび年金相談コーナーの後方支援

「街角の年金相談センター仙台」及び各年金事務所「年金相談コーナー」に対する広報を支援した。

(3) 行政機関等との連携の推進

①各種講習会・セミナーにおいて日本年金機構・全国健康保険協会宮城支部に講師派遣を依頼

②行政機関（宮城県・仙台市等）との講師派遣・原稿依頼を通じた連携を推進